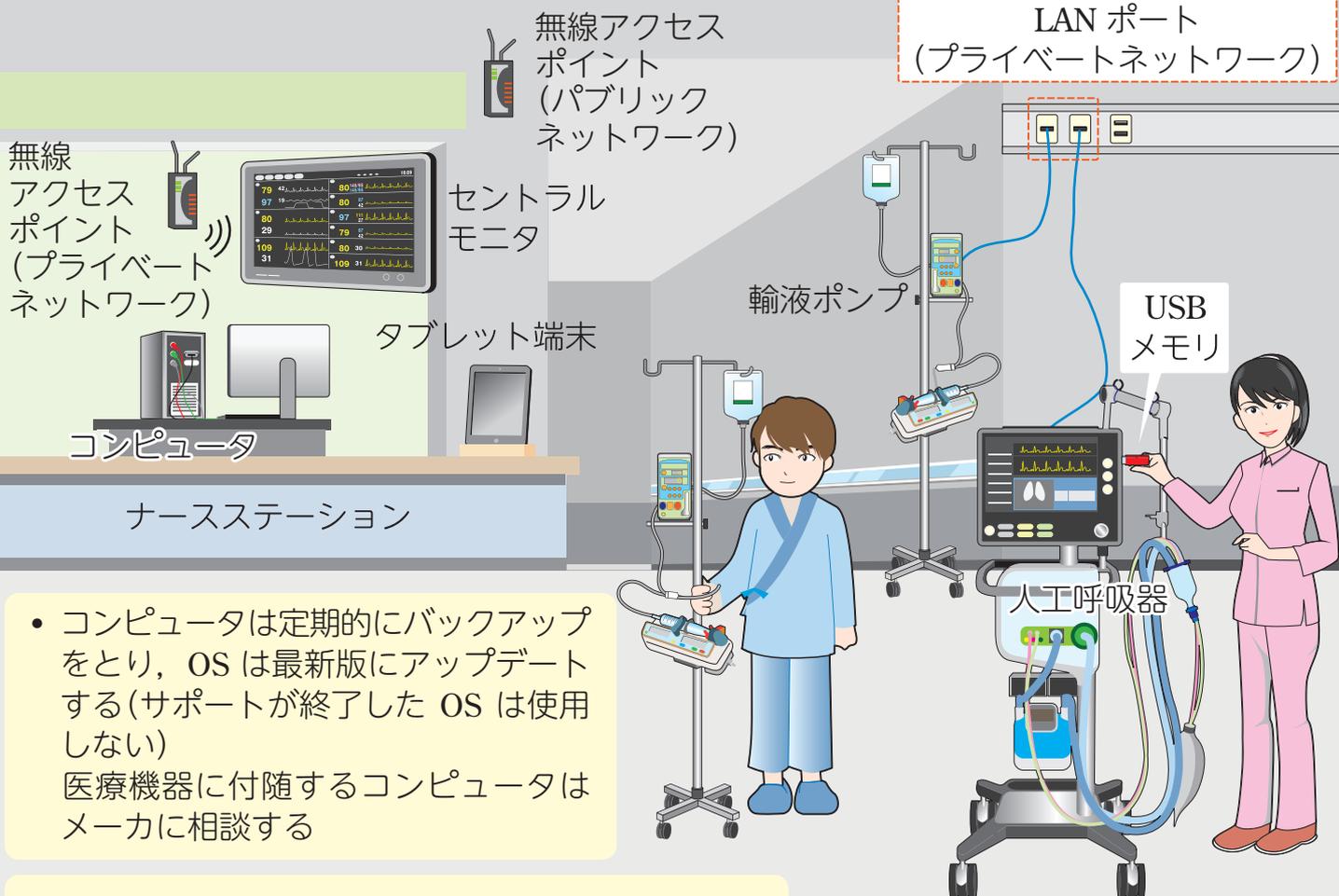


# 医療機器中央管理室, 病室 などでの業務における

セキュリティ  
チェックポイント

- 無線アクセスポイントに接続する場合は、無線アクセスポイントに設定されたネットワークセグメントの状況を理解する

- 医療機器は指定されたネットワークに接続する



- コンピュータは定期的にバックアップをとり、OSは最新版にアップデートする(サポートが終了したOSは使用しない)  
医療機器に付随するコンピュータはメーカーに相談する

- 不正アクセスと情報漏えいを防ぐために、タブレット端末を置き忘れない対策、および置き忘れた場合の対策(画面の自動ロックなど)を行う

- 無線アクセスポイントに接続された医療機器やタブレット端末は、指定されたネットワークに接続する(パブリックネットワークには接続しない)

- USBメモリを使用せざるをえない場合は、USBメモリのウイルスチェックを事前に行う(マルウェア感染を防ぐため、医療機器にUSBメモリを差し込まない)
- 紛失や盗難による情報漏えいを防ぐため、タブレット端末やUSBメモリで機器情報や患者情報を持ち運ばない



臨床工学テキスト  
医療機器運用管理のための  
情報セキュリティ

土肥健純・佐々木良一・肥田泰幸 監修  
東京電機大学出版局

書籍情報は  
「セキュリティチェックポイントポスター」  
もダウンロードできます(FREE)

